

2016年10月17日

第11回ひずみ測定講習会

第307回 群馬大学アナログ集積回路研究会

講師：東京測器研究所様より

日時：2016年9月29日（木） 10:00～15:10

場所：群馬大学理工学部（桐生キャンパス） 3号館509号室（E大教室）

概要：

講義A： 「ひずみ測定の概要」 10:00-11:00

① ひずみゲージの原理

担当： 開発部 SG開発室 落合様

② ひずみゲージ式変換器の原理

担当： 開発部 TRAP開発室 武井様

講義B： 「ひずみ測定器の原理」 11:10-12:00

担当： 開発部 MI開発室 山本様

ひずみゲージの取付けと測定の実習 13:00-15:10

実習： 「ひずみゲージの取付け方法」

担当： 開発部 SG開発室 落合様

実習： 「静ひずみの測定 及び 動ひずみの測定」

担当： 開発部 MI開発室 山本様

ひずみゲージの考案者、電子の発見者である英国のケルビン卿（1824-1907）は

There is no science without measurement

と計測工学の重要性に言及している。

ケルビン卿のもとにかつて何人もの日本人研究者が学んでいる。

ケルビン卿が研究教育を行ったグラスゴー大学からはジェームスワットの蒸気機関も生まれおり産業革命発祥の地でもあると聞く。

群馬県前橋市出身の詩人 萩原朔太郎は

「ふらんすへ行きたしと思へども ふらんすはあまりに遠し」

と詠んだが、機会があれば英国グラスゴー大学をいつの日か訪問したい思っている。

（写真提供 東京測器研究所様、文責 群馬大学 小林春夫）











































































